

2014国際教養科 NEWS 9月

英語で善光寺案内 通訳ガイド研修(7/25) &

ALTの先生方34名に日本文化を英語で紹介(8/14)

本校は善光寺のすぐ近くにあり、通学に善光寺を通ったり、授業中に善光寺の鐘の音が聞こえてきたりと、善光寺は日常生活に切り離せない身近な存在です。

そこで、今年も 7/25 (金) に長野通訳ガイドネットの平沢さんと中島さんに講師をお願いし、国際教養科1年生 41名で、ガイド研修を実施しました。お陰様で、善光寺についていろいろな知識を得ることができ、また、外国の観光客が興味を持ちそうな点を教えていただき、ポイントを絞って説明することと、案内するときの視線や表情の大切さなどを学ぶことができました。



今年、10人ずつの4グループに分かれ、約1時間半ずつ濃密な研修を受けることができました。またその様子を、SBCのカメラが取材して下さいました。その様子が、近々SBCの6時のニュースで放送される予定です。生徒たちは、熱心にメモを取りながら平沢さん、中島さんの説明に聞き入って、様々な質問を寄せていました。また、週末のためか、海外からの観光客の方々も、善光寺に大勢来ていました。

そのため、研修後にカナダからの観光客の方に、研修の成果を試してみる生徒もいました。





全員そろって、仁王門で記念撮影。炎天下の中でしたが、熱中症になることもなく、みんな元気で笑顔の研修になりました。

今年は残念ながら、新規採用の ALT の先生方に、英語で善光寺案内ガイド研修の成果を実施できませんでしたが、その代わりに県庁で、日本文化を紹介し、英語で交流を深める機会に恵まれました。

長野県国際課から本校に要請があり、8/22（金）に、本校国際教養科1年生（41名参加）が長野県で新規採用されたALT（外国語指導助手）の先生方22人とブロックリーダー10名、カウンセリング担当（PA）2名の方々に、日本文化を紹介し、英語で交流してきました。ALTの先生方は、事前に5つのグループに分かれて日本文化を体験してもらいました。着物・浴衣・法被の体験。大豆を使ってお箸でゲーム対決。墨と筆で、好きな漢字を書道体験。色とりどりの折り紙で、複雑なアニメのキャラクターを作成説明する生徒も。けん玉とお手玉で華麗なジャグリングを披露してくれる先生もいました。

